

くましんの現況

(2022年9月末現在)



熊本信用金庫は、2023年に創立100周年を迎えます。

半期情報の開示につきまして

平素より当金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。
2022年度上半期（2022年4月1日～2022年9月30日）の当金庫の業績をお知らせいたしますので、
ご高覧下さいますようお願い申し上げます。

（注）以下に掲載する計数は、仮決算に基づくものであり、監査法人の監査を受けたものではありません。

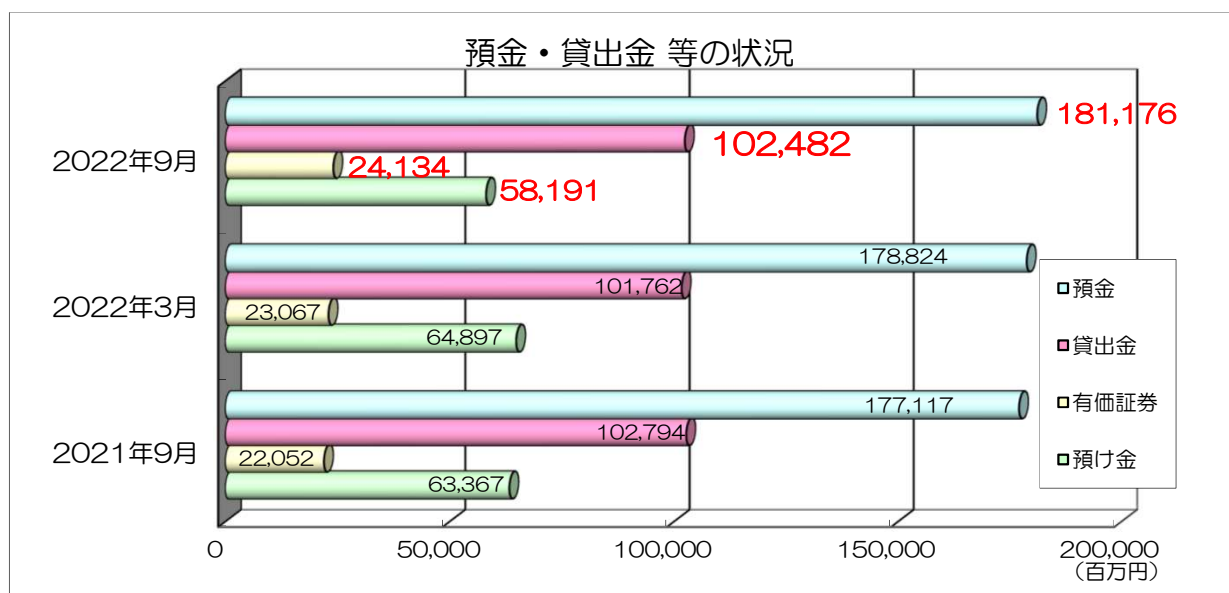
預金・貸出金等の状況（半期末残高）

預金は**23億円増加**（2022年3月末比）し、**1,811億円**となり、

貸出金は**7億円増加**（2022年3月末比）し、**1,024億円**となりました。

（単位：百万円）

	2021年9月	2022年3月	2022年9月
預 金	177,117	178,824	181,176
貸 出 金	102,794	101,762	102,482
有 価 証 券	22,052	23,067	24,134
預 け 金	63,367	64,897	58,191



収益の状況

本業の儲けを示すコア業務純益は、前年同期比で**11百万円増加**し、**3億7百万円**となりました。

経常利益は、前年同期比で**3百万円減少**し、**2億94百万円**となりました。

当期利益は、前年同期比で**4百万円増加**し、**2億14百万円**となりました。

（単位：百万円）

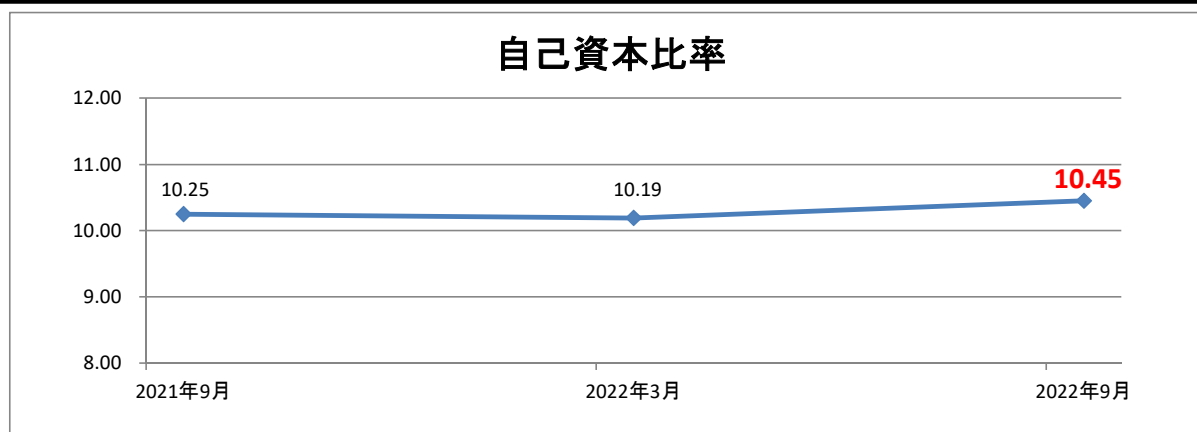
	2021年9月 (半期)	2022年3月 (通期)	2022年9月 (半期)
経 常 収 益	1,432	2,856	1,420
業 務 純 益	296	611	319
実 質 業 務 純 益	296	606	307
コ ア 業 務 純 益	296	616	307
コ ア 業 務 純 益 (除く投資信託解約損益)	296	607	307
経 常 利 益	297	555	294
当 期 純 利 益	210	405	214

単体自己資本比率（国内基準）

今仮決算における自己資本額は、内部留保の積み増し等により、**85億10百万円**となりました。

自己資本比率は国内基準の4.0%を上回る**10.45%**となっております。（単位：%、百万円）

（バーゼルⅢ）	2021年9月	2022年3月	2022年9月
自己資本比率	10.25 %	10.19 %	10.45 %
自己資本の額	8,255	8,341	8,510
コア資本に係る基礎項目	8,609	8,717	8,909
コア資本に係る調整項目	354	376	399
リスク・アセットの額	80,498	81,853	81,409
所要自己資本額	3,219	3,274	3,256



自己資本の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫および信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」が平成25年3月8日に改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから、平成26年3月期からバーゼルⅢ国内基準に基づく開示を行っております。

有価証券の時価情報

（単位：百万円）

その他目的 有価証券	2021年9月				2022年3月				2022年9月			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他目的合計	21,228	355	512	156	22,244	△ 330	269	599	23,313	△ 1,510	226	1,736
株式	321	114	114	—	319	117	118	0	327	125	125	—
債券	9,999	136	141	5	10,839	△ 21	82	103	12,797	△ 264	49	314
その他	10,906	104	255	151	11,086	△ 426	68	495	10,188	△ 1,371	50	1,422

（注）1. 「時価」は期末日における市場価格等に基づいております。

2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

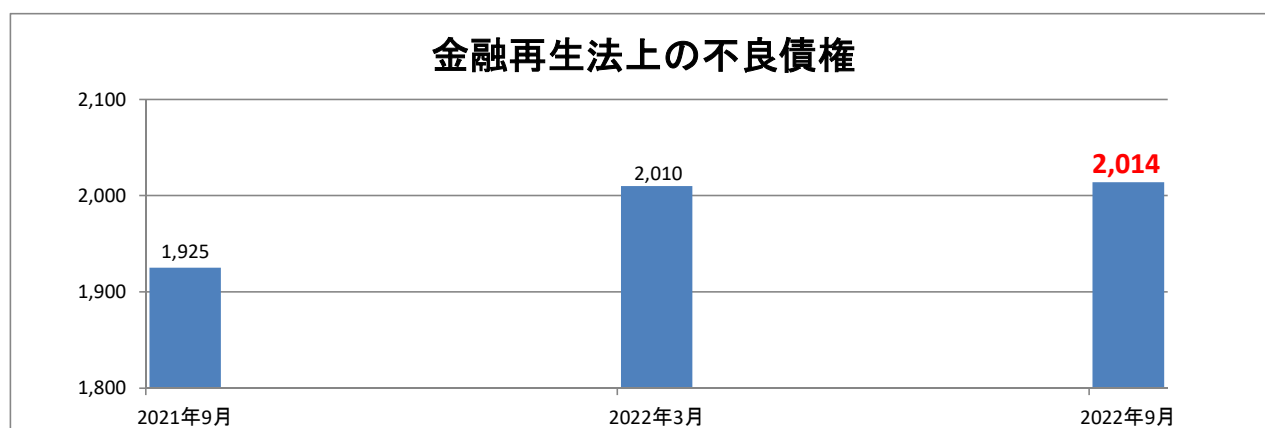
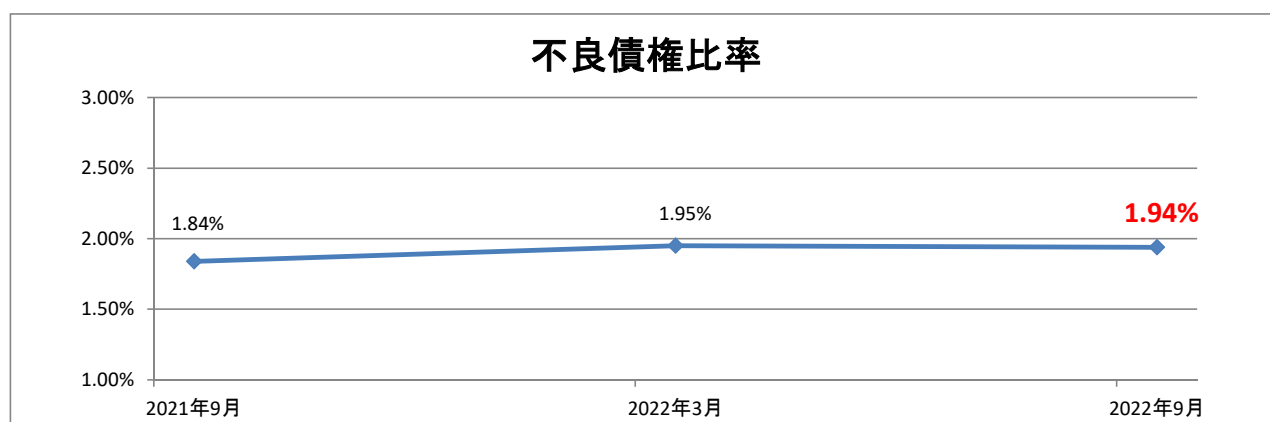
満期保有目的 債券	2021年9月				2022年3月				2022年9月			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的合計	878	53	53	—	867	45	45	—	859	39	39	—
子会社・関連会社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

金融再生法ベースの開示債権と保全の状況（単体）

金融再生法上の不良債権額は、2022年3月期に比べ**4百万円増加し20億14百万円**となり、不良債権比率は**1.94%**となりました。

（単位：％、百万円）

	2021年9月	2022年3月	2022年9月
金融再生法上の不良債権（A）	1,925	2,010	2,014
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	346	413	417
危険債権	1,578	1,597	1,596
要管理債権	0	0	0
正常債権（B）	102,222	100,997	101,716
合計額（C）=（A）+（B）	104,147	103,007	103,731
（不良債権比率）（A）/（C）	1.84 %	1.95 %	1.94 %
保全額（D）	1,703	1,824	1,827
貸倒引当金	259	294	282
担保・保証等	1,443	1,529	1,544
保全率（D）/（A）	88.48 %	90.76 %	90.69 %



貸出金の内訳（業種別）

（単位：百万円）

業 種 別 区 分 （日本標準産業分類改定後）	2021年9月 （仮決算償却後）	2022年3月 （償却後）	2022年9月 （仮決算償却後）
製 造 業	1,882	1,857	1,922
農 業、林 業	87	75	90
漁 業	7	7	7
鉱 業、採石業、砂利採取業	0	0	0
建 設 業	10,915	11,269	11,105
電 気・ガ ス・熱 供 給・水 道 業	225	202	200
情 報 通 信 業	356	349	367
運 輸 業、郵 便 業	997	950	995
卸 売 業・小 売 業	9,743	9,277	9,509
金 融 業、保 険 業	2,333	2,903	2,892
不 動 産 業	26,694	26,711	26,200
物 品 賃 貸 業	255	275	271
学 術 研 究、専 門・ 技 術 サ ー ビ ス 業	521	489	477
宿 泊 業	108	109	91
飲 食 業	3,366	3,273	3,224
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業、娯 楽 業	2,657	2,537	2,607
教 育、学 習 支 援 業	389	375	397
医 療・福 祉	976	890	889
そ の 他 の サ ー ビ ス	3,535	3,474	3,538
小 計	65,054	65,029	64,788
地 方 公 共 団 体	11,296	10,746	11,431
個 人（住 宅・消 費・納 税 資 金 等）	26,444	25,987	26,262
合 計	102,794	101,762	102,482

（注）業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

創立100周年に向けて ～記念ロゴデザイン制作～

当金庫は、2023年8月、創立100周年を迎えます。現在、100周年にふさわしい様々な企画を検討・準備しておりますが、その中の一つとして、崇城大学と連携して100周年記念ロゴデザインを制作しました。

今年4月に開催されたキックオフミーティングでは、崇城大学芸術学部デザイン学科グラフィックデザインコースの先生および学生の皆様を当金庫本店に招き、当金庫井星理事長による挨拶及び経緯説明、当金庫吉村常務理事による当金庫の歴史説明、当金庫下田人事研修課次長による当金庫の業務説明などを行ったほか、質疑応答の時間を設け、1時間程度情報共有を図りました。



当金庫井星理事長



当金庫吉村常務理事



当金庫下田人事研修課次長



質疑応答の様子

今年7月には、再び崇城大学の先生と学生の皆様を当金庫本店に招き、当金庫橋本専務理事による挨拶、崇城大学奥田准教授によるプレゼンテーション説明の後、総数150案を超えるデザイン案から厳選された10案について、崇城大学生によるプレゼンテーションが行われました。プレゼンテーション後には、質疑応答や崇城大学森野教授による挨拶があり、熱のこもったプレゼンテーションは終了しました。



当金庫橋本専務理事



崇城大学奥田准教授



崇城大学森野教授



プレゼンテーションの様子

プレゼンテーションから2週間あまり、当金庫役員による選考会が行われ、最優秀賞および理事長賞が決定いたしました。その決定を受け、今年9月、当金庫理事長室にて表彰式が開催され、当金庫井星理事長より受賞者に表彰状および金一封が送られました。最優秀賞を受賞したシャムスル アバディビン ラムリさんは、「マレーシアから日本に来て、教育に対して希望を持てるようになりました。将来、日本に恩返しをしたいという夢がありましたが、今回、少しでもお役に立てたことで、夢の一つがかなってうれしく思います。」と受賞の喜びを語ってくれました。



左から最優秀賞を受賞したシャムスル アバディビン ラムリさん、当金庫井星理事長、理事長賞を受賞した夏野 真衣さん。



最優秀賞を受賞したデザイン。100周年という高い雲を超え、羽ばたいていく鳥の姿がモチーフとなっています。晴れ渡る雲の上を一羽の鳥が感謝の気持ちを込めて羽ばたいている姿を現しています。

今後につきましては、「記念ロゴデザイン」をあしらった職員ピンバッジの製作、「PRノベルティグッズ制作」における「記念ロゴデザイン」の使用、当金庫本店横、ビジネスサポートプラザのショーウィンドウに展示されている大型パネルの新デザインへの採用、当金庫CMへの採用等、期間限定ではありますが、機会に応じて、様々な場面で使用していきたいと考えております。